

令和7年度広島県教育賞受賞者

○個人

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	石川和明 いし かわ かず あき	海田町立海田南小学校 校長 (海田町)	<p>令和3、4年度に、算数科のデータ活用領域を中心に校内研究を進め、思考力・判断力を育てる授業づくりに指導力を発揮するとともに、丁寧な児童対応ができるよう校内体制を整備し、自己肯定感を高める指導を行うことで生徒指導上の課題にも大きな改善が見られた。</p> <p>令和5年度から「道徳教育推進拠点地域事業」の指定校の校長として、道徳科を要に各教科等を通じた道徳教育の推進に尽力している。令和5年度の「小学校低学年段階からの学ぶ喜びサポート事業」の指定校の校長として、小学校低学年段階から個別の学習支援に取り組み、成果を上げた。</p> <p>また、「小学校外国語教育推進研修」の指定校の校長として、授業改善に向けた実践的な研修を実施し、児童の英語力の向上に貢献し、さらに、「小学校教科担任制推進の指定校」の校長として、専科指導や学級担任間での授業交換の取組を進め、成果を上げた。</p>
	豊田浩矢 とよ た ひろ や	尾道市立高須小学校 校長 (尾道市)	<p>尾道市立久保小学校では、「生徒指導実践」指定校の校長として、生徒指導上の諸課題の未然防止に取り組み、校長のリーダーシップの下、組織的な生徒指導体制の充実を図り、児童の自己肯定感の育成や学力向上などの成果を上げた。</p> <p>現所属校では、「生徒指導サポート実践」指定校の校長として、不登校の未然防止をはじめとする生徒指導の充実に取り組むとともに、令和5年度から「小学校外国語教育推進研修」の指定校の校長として、外国語教育の充実並びに児童の英語力の向上に取り組んだ。</p> <p>また、令和7年度には尾道市小学校校長会会長を務め、行政経験等を生かしながら、適切な指導・助言を行い、市内小学校長の資質向上を図り、尾道市の小学校教育の充実・発展に尽力した。</p>
	沖本直樹 おき もと なお き	安芸太田町立加計中学校 校長 (安芸太田町)	<p>令和4、5年度の「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の指定校の校長として、探究的な学習の充実に向けて、小学校と中学校が連携して、生活科及び総合的な学習の時間の単元の開発・実践に取り組み、成果を上げた。</p> <p>また、令和6年度から「「学びの変革」チャレンジ加配」事業の指定校の校長として、校区内の小学校と連携し、主体的に学び、課題意識を引き出す授業を通じて算数・数学の学力向上に取り組んだ。</p> <p>令和5年度に実施した第71回広島県中学校視聴覚教育研究大会において実行委員長を務め、学校の取組を郡内だけでなく県全体に広く普及させた。</p> <p>令和7年度に実施した第32回広島県中学校特別活動研究大会では、リーダーシップを発揮しながら計画的に教育課程を実施し、教職員の人材育成につなげた。</p>

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	河野 幸浩 こう の ゆき ひろ	広島県立広島工業高等学校 校長 (広島市)	<p>県立福山工業高等学校及び、県立広島工業高等学校で校長を歴任しており、工業科の拠点校として、地元産業界の人材育成に結び付くよう、工業各分野の基礎的・基本的な知識・技術の育成を図るとともに、探究的な工業教育として、工業を学ぶ意義や楽しさを実感するようなカリキュラムの開発・実践に尽力した。</p> <p>魅力ある教育内容の確立を進めるとともに、行事の見直しや組織的に分掌業務ができる体制を確立させ、働き方改革の推進を行うなど、県内の高等学校における工業教育をリードする学校として、ものづくりを原点とする教育活動を推進した。</p> <p>令和6年度からは、「全国高等学校土木教育研究会」会長、「西日本高等学校土木教育研究会」会長を務めるなど、広島県の工業教育の推進のみならず、全国の工業教育の推進に尽力した。</p>
	徳丸 奎之 とく まる のり ゆき	広島市立基町高等学校 校長 (広島市)	<p>令和2年4月広島市立広島中等教育学校長に就任以来、広島市ハイスクールビジョンに基づき、学校改革を着実に進めた。特に、中等教育学校英語教育研究校として、英語によるコミュニケーション能力や高い理想と品格を備えたグローバル・リーダーとして国内外で活躍する人材の育成を目指し、英語多読授業やA L Tの効果的な活用などの授業改善に取り組んだ。</p> <p>また、広島市立基町高等学校長として学校改革に取り組み、広島市立学校研究指定校として探究的な学びの創造に向けた組織改善や授業改善を進めた。</p> <p>全国高等学校長協会都市立部会常務理事、広島市立高等学校校長会会长、広島県公立高等学校長協会普通科部会東支部委員等、各種団体の要職を歴任し、広島県、広島市の高等学校教育の振興発展に寄与した。</p>
社会教育	半田 光行 はん だ みつ ゆき	ボーイスカウト尾道第1団 団委員長 ボーイスカウト備後地区 副協議会長 (尾道市)	<p>昭和53年4月尾道第1団ボーイ隊の副長に就任して以降、各隊の隊長及び団委員長、備後地区委員会「S・f・H」(セーフ・フロム・ホーム)安全委員長、備後地区副協議会長を務め、団を取りまとめるとともに、備後地区的組織体制の強化を図り、備後地区におけるボーイスカウト活動の活性化に貢献した。</p> <p>令和3年7月広島県連盟学識経験者理事及び広島県連盟進歩副委員長に就任し、スカウトの進級、技能章の取得等、スカウトのステップアップに係る事務の適正な執行に取り組んだ。また、備後地区委員会「S・f・H」安全委員長、広島県連盟「S・f・H」安全委員会委員として、スカウト達の安全・安心を確保するための指導者研修を主導した。</p> <p>「ワクワク自然体験あそび」事業においては、団委員長として野外活動事業の企画・運営に携わり、多くの児童・生徒に対して自然体験の機会を提供し、青少年の健全育成に寄与した。</p>

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績等
体育・スポーツ	沖 千佳 おき ちか	広島県立大柿高等学校 教諭 カヌー部顧問 (江田島市)	<p>県立高等学校の教諭として、カヌー部の指導に携わり、選手の育成強化に尽力している。特に、技術指導だけでなく、選手一人ひとりの心身の成長を重視した指導方針をとり、競技力向上とともに人間性の涵養にも寄与した。</p> <p>卓越した指導力により、県立音戸高等学校時代には、杭州アジア大会で8位入賞した日本代表の坪田恵選手を育成するほか、全国高等学校総合体育大会カヌー競技や国民スポーツ大会等において入賞者を多く輩出し、県全体のスポーツ振興に大きく貢献した。</p> <p>特に、令和7年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技においては3位入賞に導き、令和6年度の上位入賞に続き、2年連続で入賞者を輩出し、また第78回国民スポーツ大会では5位入賞の快挙に貢献した。</p>
地域文化	原 佳子 はら かずこ	元 広島市文化財保護審議会 委員 (広島市)	<p>県立美術館や広島女学院大学在籍中の調査研究に基づく美術工芸全般に関する幅広い知識・経験を生かし、通算28年の長きにわたり、広島市文化財審議会の委員として、様々な未指定文化財の調査及び美術工芸品の保存活用に係る活動に尽力したほか、大学教官として学生を指導し、文化財保護等に係る人材の育成にも尽力した。</p> <p>旧大名家である芸州広島藩浅野家において継承されてきた来歴が明らかな能関係資料である広島市重要有形文化財「浅野家旧蔵饒津神社能関係資料(附)能装束三点・能面三点・小道具類三十三点」の指定(平成30年)では、専門調査の中心として大きく貢献した。</p>

令和7年度広島県教育賞受賞者

○団体

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
社会教育	特定非営利活動法人 おのみち寺子屋 理事長 柿本 和彦 <small>かきもと かずひこ</small>	<p>「おのみち 100km 徒歩の旅」というイベントで、平成15年度から現まで23回にわたり、夏休み中に約70名の小学生4~6年生を対象に、尾道市内を4泊5日かけて100キロ完歩する事業を行った。自分達の暮らす地域を歩きぬくという実体験を通して、忍耐力、積極性、感謝の気持ち、出会いの素晴らしさ、挑戦する勇気等を育むことで青少年の健全育成に寄与した。</p> <p>毎年約70名の学生ボランティアスタッフに対し、小学生やスタッフ自らのやりがい等を創造できるよう充実した研修を実施するなど、スタッフの人才培养にも注力した。</p> <p>そのほか、小中学生を対象とした学習支援や体験活動を行う「寺子屋おのみち」や、地域のイベント等に参画することで地域のつながりをつくる「ふるさと魅力発信隊」等、多様な活動を精力的に展開し、地域コミュニティの活性化にも寄与した。</p> <p>当団体理事長は中国・四国・九州の生涯教育実践研究交流会をはじめ県内外でも広く活動事例を発表し、団員も県生涯学習研究実践交流会に運営スタッフ・登壇者として携わるなど、社会教育の振興に寄与した。</p>
地域文化	備陽史探訪の会 会長 田口 義之 <small>た ぐち よしゆき</small> (福山市)	<p>発足以来、備後地方の古代・中世・近世・近代史を体系的に調査・研究し、地域文化の継承と発展に寄与した。</p> <p>小学生から90歳代までの会員約300名が参加し、世代間交流を通じて郷土愛と歴史理解を深める学習機会を提供するほか、毎月の「ぶら探訪」をはじめとする現地フィールドワークで史跡・文化財を体験的に学習、年4回の歴史講演会に著名研究者を招聘し、地域史の多角的理解を促進した。</p> <p>古文書講座や解読会を通じて歴史資料の読解力を養成し、年6回の会報「備陽史探訪」、年1回の研究誌「備陽史研究」を刊行し、会員研究成果を広く公開した。</p> <p>「福山古墳ロード」整備等、史跡を生かした地域活性化事業を推進し市民や観光客の歴史探訪を促進し、40年以上にわたり、会員の自主性と情熱を原動力に、地域文化の保存・普及活動を持続的に展開した。</p>

個人8名 2団体
(並びは区分(校種)別、氏名等(五十音順))

令和7年度広島県教育奨励賞受賞者

○個人

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	河 村 陽 子 かわ むら よう こ	呉市立呉中央小学校 教諭 (呉市)	<p>県教育委員会の指導主事として、培ってきた教科指導における自らの経験や実践を、積極的に発信し、広島県の学校教育の発展に尽力した。</p> <p>令和3年度から、当該校において、研究主任として中学校と連携を図り、小中一貫教育発祥の地でもある呉中央学園の研究を牽引した。</p> <p>今年度、呉市がこれまで取り組んできた小中一貫教育を全国に発信するとともに、これから時代に向けた「新たな意義」について考えるべく開催した「小中一貫教育全国サミット」において、中学校の研究主任及び小中一貫教育推進コーディネーターと共に研究を進め、授業公開や研究経過報告を行い、研究の成果を普及した。</p>
	杉 井 友 子 すぎ い とも こ	江田島市立鹿川小学校 教諭 (江田島市)	<p>平成28年度に、教員長期研修（前期）を受講し、「自尊感情を高める道徳教育の工夫 一中学年における相互理解を深める道徳学習プログラムの開発を通してー」という研究主題で研究を行った。同年10月に実施した江田島市道徳教育推進協議会（第4回）において教員長期研修の報告を行い、研究の成果を市内の小中学校に普及した。</p> <p>令和5年度には、エキスパート研修を受講し、「学びの自立化を図る算数科の授業開発 一身の周りの数・量・形とのかかわりを通してー」という研究主題で算数科の研究を行った。</p> <p>令和6年度からは、エキスパート研修での研究成果を基に、児童が主体的に学習に取り組むための算数科を中心とした研究をリードした。</p>
	たま 玉 井 義 孝 たま い い よし たか	熊野町立熊野第二小学校 教諭 (熊野町)	<p>平成30年度から令和2年度まで在外教育施設に派遣され、ロックダウンの影響下で児童の学びを止めないために、オンライン授業を実施するなど、ICTを用いた授業実践力を高めた。</p> <p>現所属校では、令和6年度に教務主任を務め、授業の質向上と効率化や、児童の主体的な学びの促進を目指し、ICTを意図的に取り入れた取組を充実させた。また、その成果と課題を「ICT活用による業務改善・授業改善の実践とその効果」にまとめ、熊野町内の教職員へ普及させた。</p> <p>令和7年度は熊野町内小中学校6校を兼務し、町内教職員を対象としたICTを用いた授業改善に関する研修の企画・運営や、町内独自の算数・数学検定の作成、他校の教職員と協働した授業の実施等に取り組んでおり、教職員の授業力向上と同時に、児童生徒の主体的な学びの推進及び学力向上に向けて、大きな成果を上げた。</p>

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	原 栄美歌 はら ろえみか	三次市立八次小学校 教諭 (三次市)	<p>これまでに培った知識や実践を基に、三次市立八次小学校では令和5年度道德教育推進拠点地域事業の推進リーダー教師として、三次市立八次中学校と連携し道德教育に関する研究を牽引した。</p> <p>令和5年度に実施した道德教育に関する児童生徒意識調査においては、「道徳が好き」と回答した児童生徒は、八次小・中ともに約10ポイント増加した。また、「道徳科で学んだことを自分の生活に生かしている」と回答した割合は、両校とも約80%に達し、年度当初と比較して大きく増加した。</p> <p>加えて、令和6年度に、県立教育センターの専門講座（道徳教育）における実践発表や、三次市道徳教育推進協議会研修会における研究授業の実施等を通じて、その成果の普及、還元に努めた。</p>
	松野雄太 まつの ゆうた	福山市立東小学校 教諭 (福山市)	<p>令和元年度から令和2年度まで参加した大学院派遣研修で行った社会科の研究を基に、学校全体を巻き込みながら実践を重ねた。</p> <p>令和5年度には、広島県小学校社会科教育研究大会で研究発表や授業提案を行い、令和6年度には、広島県小学校社会科教育研究大会、全国小学校社会科研究協議会研究大会で実践発表を行うなど、市内外へ成果を発信することで社会科教育の発展に寄与した。</p> <p>現所属校では、「主体的に学び合う教職員集団」を目指した校内研修を実施し、学びについて語る場を設けるとともに、授業者と学年団、低中高学年部とグループの幅を広げながら学校全体を巻き込む「チーム学校の校内研修」づくりに取り組んだ。</p>
	坂田繪理 さかた えり	竹原市立竹原中学校 教諭 (竹原市)	<p>平成30年度に現所属校に赴任して以来、進路指導部としてキャリア教育の計画立案に携わり、当該校のキャリア教育の推進に尽力した。</p> <p>令和3年度からは当該校がキャリア教育の研究指定校の指定を受け、それまで推進してきた小中一貫教育と結び付けながら、5校（4小学校1中学校）の取組として計画立案を行うとともに、組織的な取組に結び付けた。</p> <p>令和5年度から2年連続で広島県西部教育事務所主催の進路指導主事研修での実践発表、令和6年度には竹原市学びのパワーアップフォーラムにおいてキャリア教育実践発表を行うなど、研究の成果を地域で共有するだけでなく、令和5年度には、広島県教育フォーラムで、令和6年度には、広島県教育センターの専門講座においてキャリア教育実践発表を行うなど、研究の成果を広島県全体に広め、キャリア教育の推進に大きく寄与した。</p>

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	ち 京 彩 ち きょう あや	安芸高田市立向原中学校 教諭 (安芸高田市)	<p>令和4年度から、県教育委員会の「キャリア教育の充実を中核としたカリキュラム開発事業」の指定を受け、研究推進リーダーとして、向原小・中学校9年間を通して育成したい資質・能力を定め、それを身に付けるためのループリックを作成した。また、それを基にキャリア発達につながるカリキュラムの開発及びキャリア教育実践の手引きを作成し、その成果を発表するとともに、成果物をホームページで公開するなど本県のキャリア教育の推進に寄与した。</p> <p>令和6年度からは、県教育委員会の「探究的な学びを中核とした「学びの変革」カリキュラム研究開発先導的モデル地域」の指定を受け、研究推進リーダーとして、個人探究を「My探究」と命名し、地域・社会への貢献と自分の将来につながる探究学習のカリキュラムを開発し、中学校区内で実践を行った。</p>
	中 山 貴 太 なか やま き だい	庄原市立庄原中学校 教諭 (庄原市)	<p>平成31年度に、現所属校に赴任して以来、生徒指導及び不登校対策の中心となって取り組んできた。</p> <p>令和4年度には「生徒指導基幹研修」を受講し、生徒指導主事としての資質・能力をさらに高め、令和5年度の管内の生徒指導主事研修会において、生徒指導の取組だけでなく不登校対策についての取組の実践報告を行い、管内の小中学校へ取組を広めた。</p> <p>生徒指導主事を中心とした組織的な生徒指導体制を構築し、問題行動等の早期発見・早期対応・早期解決に取り組み、暴力行為の減少に貢献した。また、継続して保護者、関係機関及び中学校区の小学校との連携等を行い、生徒指導体制・教育相談体制を維持し、不登校の未然防止策の推進に大きく貢献した。</p>
	沖 野 浩 明 おき の ひろ あき	広島県立宮島工業高等学校 教諭 (廿日市市)	<p>木材加工に関する高い専門性と優れた教科指導力を有しており、指導を受けた生徒は、全国大会の若年者ものづくり競技大会及び高校生ものづくりコンテストにおいて、多くの上位入賞を果たすなど、高い専門性と優れた指導力を発揮した。</p> <p>工業教育の中核を担う教諭として日々研鑽に努め、生徒が主体となって、学んだ技術や技能を発揮し社会に貢献させるなど、生徒の意欲を引き出す教育活動に取り組んだ。</p> <p>また、地域の祠の修繕や、四阿(あずまや)、木製遊具の製作など地域の課題を教材として取り入れ、生徒と共に地域貢献活動に取り組み、教科の専門性を生かした探究的な学びと開かれた学校づくりに貢献した。</p>

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績表
	上元真弓 かみ もと ま ゆみ	広島県立 広島国泰寺高等学校 教諭 (広島市)	<p>令和5年度ユネスコスクール全国大会にて当該校の取組が最優秀賞を受賞し、第14回ユネスコスクール全国大会/ESD研究大会で実践発表をするとともにパネルディスカッションのパネラーを務め、全国の持続可能な社会の創り手を育むESDの推進に寄与した。</p> <p>令和元年から継続的に実施している福島県立ふたば未来学園高校との「原子力」に係る交流を年々深化させるとともに、生徒有志による平和探究活動グループ「チームH I R O S H I M A」の立ち上げや毎年実施している「一中慰靈祭」に併せて、全校を挙げて平和学習に取り組む「平和探究の日」の創設など、「平和」をテーマにした探究活動の充実・発展に大きく貢献した。</p>
学校教育	古市吉洋 かる いち よし ひろ	広島県立 広島叡智学園高等学校 主幹教諭 (大崎上島町)	<p>「広島叡智学園」の設立準備に向けて、人材育成の観点から、平成29、30年度の2年間、県教育委員会学びの変革推進課の指導主事等として、カリキュラム開発等の業務に携わった。</p> <p>令和元年の当該校の開校後は、IBミドルイヤーズ・プログラム(MYP)、いわゆる中学校課程のコーディネーターとして、本校へのMYP導入を主導するとともに、MYP及びディプロマ・プログラム(DP)の認定のために尽力した。</p> <p>令和4年度から主幹教諭として、MYP・DP両プログラムの運用支援や、海外大学に関する詳細な情報収集、生徒・保護者への丁寧なガイダンスなど、きめ細やかなサポートを行うなど、海外大学進学を支援する体制づくりに注力した。</p>
	むか い 緑 みどり	広島県立熊野高等学校 教諭 (熊野町)	<p>熊野町や町内企業、小中学校と継続的に連携し、町づくりに資する企画の実施や商品開発に取り組む生徒の「探究」のファシリテートを実践した。</p> <p>令和4年度に開設された芸術類型アートディレクションコースの教育内容づくりに尽力した。</p> <p>また、探究とキャリア・進路指導を有機的につなぐための「探究センター」活用制度の構築など、計画的かつ組織的な指導体制づくりに寄与し、生徒の探究実績・意欲を多数の進学先に着実につないだ。</p> <p>教育企画部主任として、全学年の総合的な探究の時間、生徒会活動、部活動等の実施に係る業務を掌握し、生徒主体の「感動体験活動」の企画・運営を推進した。</p>

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績表
学校教育	片伯部 葉子 かた かべ ようこ	広島県立黒瀬特別支援学校 のみのお分校 教諭 (東広島市)	<p>特別支援学校において、知的障害のある生徒のキャリア教育、キャリア発達の促進に大きく寄与しており、令和5年度全国障害者技能競技大会（アビリンピック）喫茶サービス部門において、生徒を史上初となる銅賞（第3位）に導いた。</p> <p>学校教育目標達成に向けた取組として、「黒瀬特支版挨拶スタンダード」策定の中心となり、小学部中学部高等部の学部ごとに段階表を作り、統一した挨拶の仕方を児童生徒が学び、学校全体の挨拶習慣の定着に寄与し、地域からも高評価を得た。</p> <p>また、地元のコーヒーメーカーとコラボし、生徒自らがブレンドした「黒特ブレンドコーヒー」開発の指導を行い、市役所カフェや認知症の方を対象にした「カフェほのぼの」など多くの地域協働を指導し、生徒の達成感、自己有用感を育み、キャリア発達を促進した。</p>
	中松偉之 なかまつ よりゆき	広島県立呉南特別支援学校 教諭 (呉市)	<p>平成19年度から、県教育委員会主催特別支援学校技能検定の指導に従事し、検定を通して、自身で考え、仲間と協働しようとする生徒の育成に尽力し、複数の種目において、1級取得を含め、多くの級取得生徒を輩出した。</p> <p>平成27年度からは、全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の広島県大会では、成績上位者を輩出し、平成30年度（製品パッキング）、令和6年度（製品パッキング）、令和7年度（製品パッキング、ビルクリーニング）では県大会優勝（金賞）に導き、全国大会出場を果たした。</p> <p>校内の分掌や学部内等でもチームワークを大切にし、やる気を大切にした指導を通して、人材育成に取り組んだ。</p>
	近藤晃史 こんどう あきふみ	福山市立想青学園 教諭 (福山市)	<p>令和4年度の開校当初よりコミュニティ・スクールを導入し、担当教員として地域と学校をつなぐ役割を担い、地域に開かれた学校づくりを推進した。</p> <p>前期・後期を超えた教科研究グループ体制を整備し、多様な視点で議論を深めるとともに、授業改善を学校全体の課題として共有する体制の確立に貢献した。</p> <p>また、総合的な学習の時間を核とする新教科S O S E I学のカリキュラム編成を中心となって行い、当初の構想課題から、「S O S E I学活性化プロジェクトチーム」を立ち上げ、前期課程では地域からミッションを受け取り、後期課程では地域との対話を通じて自ら課題を発見・解決する形式へと転換させた。</p> <p>さらに、社会科において生徒が自ら関心を持った探究課題を設定し個人探究を軸に授業を進め、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めた。</p>

区分	氏名	所属及び職名 (所在地)	功績表
体育・スポーツ	かつ 勝 た 田 せい 二 （かつかわ けんたろう）	広島県スキー連盟 理事 強化本部ノルディック副委員長 (広島市)	<p>自身も幼少期から競技を経験しており、広島県初の全国高校総体準優勝や、国民体育大会、全日本スキー選手権大会等、多くの入賞経験を持つ。</p> <p>広島県スキー連盟ノルディックコーチ、全日本スキー連盟クロスカントリージュニアコーチを経て、令和3年に県立加計高等学校芸北分校スキー部の顧問に就任。以来、学校生活における人間力と競技力の向上に取り組み、全国高等学校総合体育大会等、5度の入賞を導いた。</p> <p>令和6年度には、指導した選手が、第9回アジア冬季競技大会にバイアスロン競技の日本代表として出場し、同年の FISU World University Games にも日本代表を輩出。また、第103回全日本スキー選手権大会で広島県初の優勝者を輩出し、第79回国民スポーツ大会冬季大会では、指導した選手を、成年女子Aで県内選手として初めて4位入賞に導いた。</p>
	岸川 健太郎 （きしかわ けんたろう）	広島市立広島工業高等学校 実習教諭 自転車競技部顧問 (広島市)	<p>母校の広島市立広島工業高等学校の自転車競技部顧問として卓越した指導力を発揮し、多くの男女選手を全国大会での入賞へと導いた。</p> <p>また、平成28年より国民体育大会において少年男子の広島県代表チームの監督を務め、毎年チームを率いて、県の競技力向上に貢献した。</p> <p>令和7年2月には、広島県高等学校体育連盟功労賞を受賞した。</p> <p>令和7年7月開催の全国高等学校総合体育大会では、自転車競技において選手が優勝を果たすなど、全国規模の大会で数多くの入賞者を輩出した。</p>
教育行政	わた 渡 なべ 史 ふみ ゆき （わたなべふみゆき）	広島県立歴史博物館 主任学芸員 (福山市)	<p>賴山陽史跡資料館在籍時には、それまで全容が明らかにされていなかった「広島賴家関係資料」について、関係者と連携しながら約1万点にも及ぶ膨大な資料の悉皆調査を進め、国の重要文化財指定に向けて多大な貢献を果たすとともに、調査結果を整理した詳細な目録を作成し、貴重な資料群の価値を広く紹介した。</p> <p>その後、県立歴史博物館においては、「菅茶山関係資料」に係る調査研究を進展させ、国の重要文化財の追加指定に大きく寄与するとともに、同資料の保存修理事業において、様々な観点から検討を重ね、適切かつ着実な修理の実施により、将来への確実な保存・継承に尽力した。</p> <p>また、「守屋壽コレクション」の担当として、関係者との連携を丁寧かつ綿密に図りつつ、自身が深めた研究成果等を踏まえ、分かりやすく魅力的な構成となるよう工夫した展示会を企画・運営するなど、地域の歴史文化の普及啓発に努めた。</p>

令和7年度広島県教育奨励賞受賞者

○団体

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
学校教育	福山市立西小学校 校長 桑田 貴子 (福山市)	<p>令和4年度に福山市の「効果的なＩＣＴ活用実践研究校」の指定を受け、教師は「効果的に使う」こと、児童は「日常的に使う」ことを柱とし、教科等で育成を目指す資質・能力を確実に定着させ、これから社会で求められる自律的に学び続ける力を育てる新たな学び方を身に付けるための授業改善に取り組んだ。</p> <p>児童の一人1台端末に搭載されたツールやアプリケーションについて、低学年・中学年・高学年・中学校のそれぞれの段階でどのように活用できればよいかを一覧にした活用スキル体系表を学校の実態に合わせて作成し、発達段階に応じた身に付けるべきスキルを明確化した。</p> <p>授業でのＩＣＴの活用だけでなく、校務のデジタル化も図っており、共有ドライブやＷｅｂ会議システム等の汎用的なアプリケーションを活用することで、校務の効率化を図るとともに、教職員の働き方改革や意識改革を行った。</p>
	三次市立甲奴小学校 校長 正平 浩運 (三次市)	<p>体育科の授業を通して運動の楽しさを味わいながら、周囲との関わりを通して高め合う児童の育成を目指して、児童が「楽しくわかる・できる」「認め高め合う」授業づくりを行った。</p> <p>コミュニケーションスクールをスタートしたことや小童小学校が当該校に統合されたことをきっかけに、甲奴町全体を巻き込んだ「こうぬ丸ごと大運動会」を開催し、保育園児からお年寄りまで、全ての年代が楽しめる運動会を開催するなど、地域に根差した教育活動を展開した。</p> <p>企業と協力し、映像分析ソフトを導入するなど、ＩＣＴを活用した授業づくりを積極的に進めた。</p> <p>当該校における長年の地域との連携、単元づくりに係る研究の蓄積を生かした「深い学び」のある授業の実現が、児童の体力・学力の向上や、集団性、自己肯定感の育成のみならず、教職員や地域のウェルビーイングにつながった。</p>
	府中市立上下中学校 校長 高本 智義 (府中市)	<p>地元、上下町の地域課題の解決に向けた探究的な学習活動を展開することにより、社会に開かれた教育課程の実現を図るとともに、取組を継続・発展させた。</p> <p>第3学年の「総合的な学習の時間」において「上下町の活性化」をテーマに据え、国の登録有形文化財である木造芝居小屋「翁座」を活用し、地域イベントを生徒主体で企画・運営した。また、ゲストティーチャーから学んだ広報戦略を基にクラウドファンディングを実施し、2年連続で目標額を大幅に上回る資金を調達するなど、立案、資金調達、広報、交渉、当日運営までを一貫して生徒が担い、実社会で通用する力を養った。</p> <p>生徒を対象とした意識調査において、「自分で考え取り組んでいる」生徒の割合や「地域や社会をよくしたい」と考える生徒の割合が上昇しており、生徒の主体性や社会参画意識が向上した。</p> <p>地域課題を自ら解決しようとする学習活動を通じて、社会に開かれた教育課程の理念を体現しており、教育成果が地域活性化へつながる、今後のモデルとなる実践を行った。</p>

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
学校教育	広島県立広島皆実高等学校 校長 黒田 康弘 (広島市)	<p>普通科、衛生看護科、体育科3学科の総合力を生かしながら、多様な目標を持つ生徒一人ひとりが夢に向かって努力し、「大学進学、看護師国家試験合格、全国大会出場」を目標とした「Triple hundred」を継続して達成するなど成果を上げている。</p> <p>令和2年度から、段階的に普通科や体育科と同様に、衛生看護科でも1、2学年で総合的な探究の時間を実施することとし、学科それぞれが強みを生かした特色あるカリキュラムを開発している。特に、令和5年度以降、衛生看護科では、県立広島工業高等学校や県立宮島工業高等学校、企業と連携した取組や、大学と連携した研究を行い、学会でも発表を行った。</p> <p>また、令和6年度からは、国のDXハイスクール事業の採択校として、AIの活用やデータサイエンスに係るカリキュラム開発に取り組むとともに、総合的な探究の時間においてDX型ゼミを開設し、先進機器・技術等に触れる体験型学習、ひろしまAI部での活動やデジタルモノづくり、スポーツサイエンス等の探究活動に取り組んでいる。更に、デジタル人材育成のための取組の一つとして、DXハイスクール事業により整備した探究ルームの地域への開放や中学1、2年生対象のプログラミング体験授業、DXハイスクール採択校間で連携した講演会など、様々なプログラムを開発し、県内の他の採択校を牽引する役割を果たしている。</p>
	広島県立福山北特別支援学校 校長 安田 幸司 (福山市)	<p>社会に開かれた教育課程の実現に力を入れており、地域と連携・協働し、地域資源を効果的に活用した特色のある教育を創造した。</p> <p>社会福祉協議会、大学、企業、自動車学校等多機関との協働による就労促進のモデルを構築しており、東部地区の特別支援学校の取組を牽引した。</p> <p>大学等との連携による大学施設を活用した介護実習の実現や、特別養護老人ホーム園長を招聘した講話を企画するなどの先進的な取組により、これまで就職者がなかった高齢者施設に数名の生徒が就労するなど成果を上げた。</p> <p>企業と連携し、地域の特産を活用した学校で使用するデニム作業服の選定・採用を、県内の特別支援学校として初めて行った。</p> <p>地域住民を対象とした生徒運営の「フッキーカフェ」は平成26年度に営業を開始し、改善を重ねながら12年間継続している。販売活動や異年齢の方とのコミュニケーションを通して、生徒が社会のルールやマナーを身に付け、職業的自立を促進する場となった。</p> <p>福山市教育委員会と連携し、小・中学校教員と特別支援学校教員との交流促進や、福山市の研究指定校への参画、特別支援学級担任向けの研修会の実施など、特別支援教育の推進に貢献した。</p>
	呉市立天応学園 校長 坂口 守 (呉市)	<p>平成30年豪雨災害で被害を受けた天応地区の復興のシンボルとして、呉市が進めてきた小中一貫教育を基盤として、防災教育を核に据え、災害に強いまちづくりを考える学びなどを通して、地域とともにある学校づくりを進めた。</p> <p>令和3年度から5年度まで、「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の指定校として、9年間を見通した系統的な計画を作成するとともに、探究的な学習を中心としたカリキュラムの開発に努めた。さらに令和6年度からは「探究的な学びを中心とした「学びの変革」カリキュラム 研究開発事業」の指定校として、探究的な学びの充実に向けて、「情報」を特色に据え、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした総合的な学習の時間の単元開発やカリキュラム・マネジメント等に関する研究を積み上げた。</p> <p>これにより、日常生活・社会の課題の解決に向け、探究的な学びを展開する中で、地域の人材を積極的に活用しながら、発達段階に応じた単元を開発するとともに、学びの成果を社会に還元する活動を実施した。また、令和7年度に呉市が開催した「小中一貫教育全国サミット」で上記県指定事業を中心とした授業公開を行い、県内外に研究を普及した。</p> <p>これらの取組により、他県の教育委員会等から視察が入るなど、探究的な学習の充実及び義務教育学校における安定的な学校運営を継続して行った。</p>

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
地域文化	御領はねおどり保存会 会長 上御領上組町内会 <small>おかもと りゅういち</small> 岡本 竜一 上御領中組町内会 <small>め さき まさゆき</small> 目崎 雅之 上御領下組町内会 <small>しげまさ おさむ</small> 重政 修 (福山市)	<p>昭和 40 年から 60 年間という長きにわたり活動を継続しており、上御領八幡神社秋の大祭における氏子による「御領はねおどり」の奉納のほかにも、年 5 回町内の社寺で奉納踊りを実施した。</p> <p>平成 3 年には、「御領はねおどり」が旧神辺町指定無形民俗文化財の指定を受け、地域の文化財を守り発展させる機運を作り上げるとともに、町民全体で伝統文化の価値を共有し、町ぐるみで子供達への継承活動に精力的に取り組んだ。</p> <p>後継の育成については、若年層や子供達が親しみを持って伝承してもらえるように、上御領上・中・下の 3 つの組に会員を分け、組ごとに集まって工夫をしながら練習を実施した。</p> <p>令和元年には、福山城築城 400 年市民企画事業「神辺はね踊り大共演会」や、町内を越えた地域のイベントにも出演し、子供主体の踊りを披露し好評を博した。</p> <p>なお、平成 27 年頃から、福山市神辺町の福山市立御野小学校の 3 年生に、総合的な学習の時間を使って「御領はねおどり」を指導しており、令和 5 年 11 月には同校 3 年生約 50 人が学習発表会で地域住民に練習の成果を披露した。</p> <p>これらの取組により、「御領はねおどり」という伝統文化の継承だけではなく、子供達が郷土を愛し、伝統文化への誇りを育むきっかけを創出するとともに、子供達に、世代を超えた交流という貴重な機会を提供した。</p>

個人 18 名 7 団体
(並びは区分(校種)別、氏名等(五十音順))